

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

項目番号	項目	第三者評価結果
I-1-(1)	理念、基本方針が確立されている。	
I-1-(1)-①	理念が明文化されている。	○a・b・c
I-1-(1)-②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	○a・b・c
I-1-(2)	理念や基本方針が周知されている。	
I-1-(2)-①	理念や基本方針が職員に周知されている。	○a・b・c
I-1-(2)-②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	○a・b・c

I-2 計画の策定

項目番号	項目	第三者評価結果
I-2-(1)	中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-2-(1)-①	中・長期計画が策定されている。	○a・b・c
I-2-(1)-②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	○a・b・c
I-2-(2)	計画が適切に策定されている。	
I-2-(2)-①	計画の策定が組織的に行われている。	○a・b・c
I-2-(2)-②	計画が職員に周知されている。	○a・b・c
I-2-(2)-③	計画が利用者等に周知されている。	○a・b・c

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

項目番号	項目	第三者評価結果
I-3-(1)	管理者の責任が明確にされている。	
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	○a・b・c
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組みを行っている。	○a・b・c
I-3-(2)	管理者のリーダーシップが発揮されている。	
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取組みに指導力を発揮している。	○a・b・c
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組みに指導力を発揮している。	○a・b・c

II 組織の運営管理

II-1 経営状況の把握

項目番号	項目	第三者評価結果
II-1-(1)	経営環境の変化等に適切に対応している。	
II-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	○a・b・c
II-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組みを行っている。	○a・b・c
II-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	○a・b・c

II-2 人材の確保・養成

項目番号	項目	第三者評価結果
II-2-(1)	人事管理の体制が整備されている。	
II-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	○a・b・c
II-2-(2)	職員の就業状況に配慮がなされている。	
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている	○a・b・c
II-2-(2)-②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	○a・b・c

Ⅱ-2-(3)	職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
Ⅱ-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	○a・b・c
Ⅱ-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組みが行われている。	○a・b・c
Ⅱ-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	○a・b・c
Ⅱ-2-(4)	実習生の受け入れが適切に行われている。	
Ⅱ-2-(4)-①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	○a・b・c
Ⅱ-2-(4)-②	実習生の育成について積極的な取組みを行っている。	○a・b・c

Ⅱ-3 安全管理

項目番号	項目	第三者評価結果
Ⅱ-3-(1)	利用者の安全を確保するための取組みが行われている。	
Ⅱ-3-(1)-①	緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	○a・b・c
Ⅱ-3-(1)-②	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	○a・b・c
Ⅱ-3-(1)-③	災害等の発生時における防災体制が整備されている。	○a・b・c

Ⅱ-4 地域との交流と連携

項目番号	項目	第三者評価結果
Ⅱ-4-(1)	地域との関係が適切に確保されている	
Ⅱ-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている	○a・b・c
Ⅱ-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している	○a・b・c
Ⅱ-4-(1)-③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している	○a・b・c
Ⅱ-4-(2)	関係機関との連携が確保されている	
Ⅱ-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている	○a・b・c

Ⅱ-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	Ⓐ ・ b ・ c
-----------	----------------------	-----------

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

項目番号	項目	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1)	利用者を尊重する姿勢が明示されている。	
Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組みを行っている。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-1-(2)	利用者満足の向上に努めている。	
Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-1-(2)-②	利用者満足の向上に向けた取組みを行っている。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-1-(3)	利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	Ⓐ ・ b ・ c

Ⅲ-2 サービスの質の確保

項目番号	項目	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1)	質の向上に向けた取組みが組織的に行われている。	
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-2-(1)-②	評価の結果に基づき組織として取組むべき課題を明確にしている。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-2-(2)-③	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-2-(2)	個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。	
Ⅲ-2-(2)-①	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ ・ b ・ c

Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-2-(3)	サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ ・ b ・ c

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

項目番号	項目	第三者評価結果
Ⅲ-3-(1)	サービス提供の開始が適切に行われている。	
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-3-(2)	サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
Ⅲ-3-(2)-①	サービスの内容や事業所の変更などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ ・ b ・ c

Ⅲ-4 通所介護計画の策定

項目番号	項目	第三者評価結果
Ⅲ-4-(1)	利用者のアセスメントが行われている。	
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-4-(1)-②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-4-(2)	利用者に対する通所介護計画が策定されている。	
Ⅲ-4-(2)-①	通所介護計画を適切に策定している。	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-4-(2)-②	定期的に通所介護計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ ・ b ・ c

Ⅲ-5 サービスの実施

項目番号	項目	第三者評価結果
Ⅲ-5-(1)	送迎。	
Ⅲ-5-(1)-①	利用者の心身の負担にならないよう送迎サービスを工夫し、安全を確保するための取組みを行っている。	○a・b・c
Ⅲ-5-(2)	食事。	
Ⅲ-5-(2)-①	通所介護計画に基づいた食事サービスが用意されている。	○a・b・c
Ⅲ-5-(2)-②	食事環境(食事時間や利用者の嗜好を含む)に配慮している。	○a・b・c
Ⅲ-5-(3)	入浴。	
Ⅲ-5-(3)-①	利用者の自立を念頭に置き、入浴介助は適切に行われている。	○a・b・c
Ⅲ-5-(3)-②	浴室・脱衣場等の環境は適切である。	○a・b・c
Ⅲ-5-(4)	排泄。	
Ⅲ-5-(4)-①	利用者の自立を念頭に置き、排泄介助は適切に行われている。	○a・b・c
Ⅲ-5-(4)-②	トイレは清潔で快適である。	○a・b・c
Ⅲ-5-(5)	行事・レクリエーション。	
Ⅲ-5-(5)-①	行事やレクリエーションは、利用者や家族の希望に配慮して、利用者の主体性や自立支援という視点から行われている。	○a・b・c
Ⅲ-5-(6)	機能訓練。	
Ⅲ-5-(6)-①	利用者一人ひとりの状態に応じた個別機能訓練を実施している。	○a・b・c
Ⅲ-5-(7)	健康管理。	
Ⅲ-5-(7)-①	健康を維持するための取組みが行われている。	○a・b・c
Ⅲ-5-(7)-②	内服薬・外用薬等の扱いは確実にされている。	○a・b・c

Ⅲ-6 質の高い福祉サービスの実施に係る具体的な取組み

項目番号	項目
Ⅲ-6-(1)	質の高い福祉サービスの実施のために特記すべき取組みが行われている。
Ⅲ-6-(1)-①	質の高い福祉サービスの実施に向けて、事業者として独自性のある取組みや特徴的な取組みを行っている。

◇該当する項目を記入し、具体的な取組みについて記述する。

【該当項目】

「Ⅰ-3-(1)-①」「Ⅰ-2-(1)-①」「Ⅲ-2-(1)」「Ⅲ-5-(2)-②」「Ⅲ-5-(5)-①」「Ⅲ-5-(6)-①」

【特記項目】

平成27年に、ユニット型特養やデイサービスなどの在宅部門のサービス事業所が新築されている。広々としたモダンな事業所では、最新式のリハビリ機器や福祉用具・環境の整備や利用者本位についてのサービスが検討されており、ゆとりある空間の中で機能別に分類されている。

・管理者として、組織全体をリードするために、自らの役割と責任を毎年、4月に更新し「事務分掌規程」に文書化している。又、職員会議や研修などを通じて表明している。地域住民や家族に対し、質の向上を目指したいという強い信念を広報誌やホームページ上で述べている。更に、定期的に地域ニーズの把握・次世代教育などの多くの課題に取り組んでいる。

・理念や運営方針の実現に向けて「中・長期計画書」に分かりやすく文書化している。例えば、当事業所独自の考案で「新中期発展計画書と提供目標」(平成27年～29年度)と題し、一覧表が作成され、重点課題や年度毎の目標や運営方針が具体化されている。計画・実践・評価・見直しが行いやすいように作成されており、介護保険制度の動向に即している。必要に応じて見直しをしている。

・第三者評価の定期(2年ごと)な受審やサービス向上委員会が中心となり、各職員により年1回(12月)サービス内容の評価を行っている。また、第三者評価や自己評価では各職員が参画して課題の共有化と検討がなされる仕組みが構築されており、明らかとなった課題については在宅会議などへ提案されることで次年度の事業計画にて文書化され、課題解決に向けての取組みがなされている。

・給食会議に利用者が参加しており、直接要望を聴き入れるための体制が整備されている。

・利用者の希望に基づいて月1回の頻度で反省と次年度の計画を作成している。レクリエーションは、ゲームやスポーツ、事業所の「標語」の絵の色塗りなどの創作活動が充実している。また、行事は季節に合わせた敬老会や忘年会、夏祭りや花見など外部のボランティアなどを活用して多彩な工夫がなされている。

・通所介護計画に基づいた個別機能訓練計画を策定している。機能訓練についての利用者に対して個別の意向調査を行い、マット訓練や椅子に座って行う体操など一人ひとりに応じたプログラムを実施している。